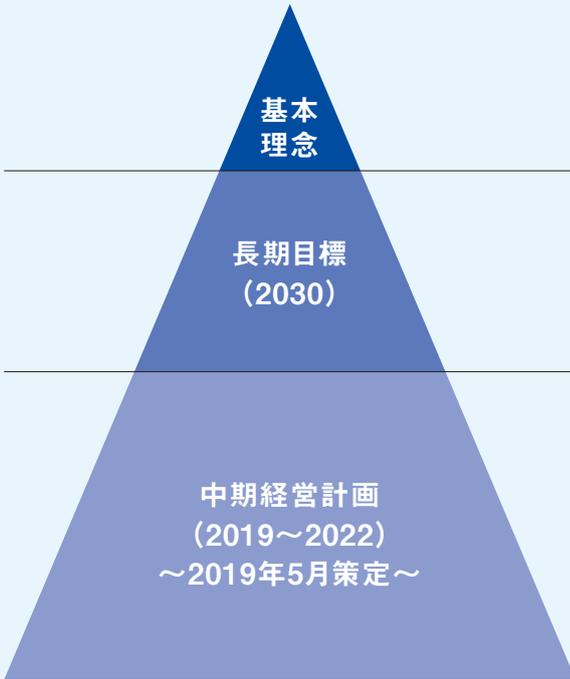


# 三重交通グループ中期経営計画 2019▶2022

当社グループは、2019年度より4カ年の「三重交通グループ中期経営計画(2019-2022)」を策定し、取組みを進めています。



## グループ基本理念

「三重交通グループは、お客さまの豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します」

## 2030年のありたい姿

事業構造の変革で築いた高い収益力と強固な財務基盤を以って、事業領域の持続的拡大とグループ全体のさらなる信用力向上を目指します。  
～三重県No.1の企業グループ、そして全国的な知名度アップ～

## 2022年にあるべき姿

事業構造の変革スピードを緩めることなく、2030年の「ありたい姿」に向かって、グループの総合力を結集し、持続的な「成長・発展」を実現します。  
また、変化する環境への適応力向上と地域貢献活動に努めます。

## 三重交通グループの新しい中期経営計画

新たな時代に進み続ける～Keep on Going「令和」～

## 基本方針

- 安全・安心・安定・快適なサービスの提供
- 成長分野の深耕と創造
- 持続的な安定経営への努力
- 市場の変化に対応した事業モデルの構築
- ICT・AI等の有効活用

## 重点施策

- 1 グループの信用力と知名度の源泉となる「安全・安心・安定・快適」の追求
- 2 人口減少・少子高齢化社会において成長戦略が描けるよう「東京・名古屋・関西での事業」を展開
- 3 地域の街づくりや観光振興等「三重エリアでの事業」を深化
- 4 グループの成長ドライバーとして引き続き「環境エネルギー事業」と「三交イン事業」の推進
- 5 お客様の「利便性向上」、事業の「生産性向上」・「効率化」が図れるよう「ICT・AI等の活用」を推進

## 計画最終年度(2023年3月期)の経営計画目標値

### 2023年3月期の経営計画目標値

	2020年3月期(実績)	2023年3月期(計画)		2020年3月期(実績)	2023年3月期(計画)
営業収益	103,926	115,000	自己資本比率	29.4%	35%程度
営業利益	5,918	8,300	ROE(自己資本純利益率)	7.6%	9.0%程度
経常利益	5,874	8,000	ROA(総資産営業利益率)	3.6%	4.0%~5.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,760	5,300	有利子負債/EBITDA倍率	6.7倍	6倍以下
		(単位:百万円)	D/Eレシオ	1.6倍	1.5倍以下

# 重点施策の具体的な取組み

(2020年9月までの進捗)

## 1 安全・安心・安定・快適の追求

### 連節バスの試験走行

三重交通(株)は2021年春を目途に伊勢市内で導入を目指している連節バスの試験走行を実施しました。

実施期間 ▶ 2019年9月2～6日



伊勢市内MAP

### MaaSへの取組み

三重交通(株)と(株)三交タクシーは、近鉄グループが取り組む「志摩MaaS」の実証実験に参画しました。実証実験第1弾は2019年10～11月に、第2弾は2020年1～3月にオンデマンド交通の検索・予約・決済が継ぎ目なく利用できる観光地型MaaSアプリ「ぶらりすと」を使って実施されました。



オンデマンドバス実験車



専用アプリ「ぶらりすと」

## 2 東京・名古屋・関西での事業展開

### 名古屋エリアの収益拡大と資産のバリューアップ

#### 名古屋三交ビルの開業

三交不動産(株)が建替えを進めていた名古屋三交ビルが2020年4月に開業しました。ホテルフロアには「三交インGrande名古屋」がオープンしたほか、オフィフロアには一般企業様のほか、三重交通グループ6社が集結し、名古屋地区の拠点として機能強化を図りました。

##### 8階～16階【ホテルフロア】

三交インGrande名古屋

##### 2階～7階【オフィフロア】

三交不動産(株) 名阪近鉄バス(株)  
名阪近鉄旅行(株) (株)三交イン  
(株)三交コミュニティ (株)三交不動産鑑定所

##### 1階【店舗フロア】※

松阪牛を提供する飲食店、名古屋の老舗カフェが展開するコーヒースタンド等

※新型コロナウイルス感染拡大により未開業の店舗があります



#### (仮称)第2名古屋三交ビル

三交不動産(株)は、名古屋三交ビルに近接する既存賃貸施設及び立体駐車場を地下1階地上14階のビルに建て替えることを決定しました。2024年春の開業を目指して2020年8月より既存建物の解体工事が始まりました。

リア中央新幹線予定駅周辺の街づくりに調和したランドマークとなる外観、総合設計採用による街と連なる開放的な空間設計を目指し、賑わい演出を図ります。

#### ビル概要

##### 敷地面積

| 約2,743.13m<sup>2</sup>(約829.79坪)

##### 延床面積

| 約21,000m<sup>2</sup>(約6,400坪)

##### 主要用途

地下1階 …… 駐車場  
1階 …… 商業フロア  
2階～14階 …… オフィス賃貸フロア



(名古屋三交ビル、(仮称)第2名古屋三交ビルの詳細については11～12ページを参照)

#### 名古屋市交通局市バス運行受託

2020年4月、三重交通(株)が管理受託している港明営業所の車両が16両増加しました。これにより、名古屋市交通局からの受託車両が182両となりました。



### 3 三重エリアでの事業を深化

#### 農業

三交不動産(株)は、三重県津市にて高品質・高付加価値のミニトマトの生産を開始し、2020年9月から出荷を開始しました。今後も安定的に生産することで、「農業ビジネス」の成立と「地域の雇用創出」・「地方創生」に貢献します。



2020年  
8月～ **生産**

2020年  
9月～ **収穫**

#### 新名神高速道路開通効果 (新四日市JCT～亀山西JCT)

(株)三重カンツリークラブ、(株)松阪カントリークラブでは、新名神高速道路の開通効果により、中京圏、関西圏の来場者が大幅に増加しました。今後も商品プランを充実する等して来場者増加を目指します。



### 4 環境エネルギー事業と三交イン事業の推進

#### 環境エネルギー事業

三交不動産(株)が、建設を進めていた「津メガソーラー社の街中勢バイパス第5発電所」の完成をもって発電規模が114メガワットになりました。

中期経営計画(2019-2022)期間中に完成した施設

施設名	発電規模	発電開始
大仏山メガソーラー発電所	13.8メガワット	2019年4月
南伊勢神津佐メガソーラー第2発電所	14.7メガワット	2020年3月
津メガソーラー社の街中勢バイパス第6,7発電所	5.1メガワット	2020年8月
津メガソーラー社の街中勢バイパス第2,3発電所	4.5メガワット	2020年9月
津メガソーラー社の街中勢バイパス第5発電所	1.3メガワット	2020年10月



大仏山メガソーラー発電所



南伊勢神津佐メガソーラー第2発電所

#### 三交インの開業とリニューアル

2019年9月にビジネスホテル「三交イン京都八条口」を開業しました。また、同年11月から大規模リニューアル工事を実施していた「三交イン名古屋新幹線口」が2020年3月にリニューアルオープンを迎えました。さらに、同年4月には名古屋三交ビル内に「三交インGrande名古屋」が開業し、これにより全15ホテル・2,096室のホテルチェーンとなりました。



#### 投資

2019年度は、バス車両等の維持更新投資で約45億円、メガソーラー発電所2施設、名古屋三交ビルの建設、賃貸土地取得等の戦略的投資で約84億円、計129億円を投資しました。



#### 新型コロナウイルス感染症の影響と対応策

2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がグループ全体に出ています。このような中、グループ各社は、お客様及び従業員の感染防止対策を徹底するとともに、店舗休業等により減少した収益の確保を目指して「新しい生活様式」に沿った営業活動を展開しています。また、人件費や販売経費等の費用を抑制することで利益確保に努めるほか、投資についても安全投資や長期にわたって利益を生む計画以外は一部先送りを実施する等、業績への影響を最小限に抑えられるよう様々な施策に取り組んでいます。(新型コロナウイルス感染症の対策については19～20ページを参照)